

2020年9月16日

1万以上のオリジナル生薬素材を研究してきた中国・雲南白薬社と協業 皮膚科学研究に強みを持つポーラ化成工業と素材開発に取り組む

ポーラ・オルビスグループの研究・開発・生産を担うポーラ化成工業株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:釘丸和也)のフロンティアリサーチセンターと、世界有数の漢方医薬品メーカーである雲南白薬グループの雲南白薬集団健康産品有限公司(本社:中国雲南省、総裁:秦皖民)は、化粧品に活用する新素材の研究開発において協業することに合意し、2020年9月16日にオンラインにてその調印式を実施しました。



調印式の様子 ※新型コロナウイルス感染防止のため、オンラインにて実施

10万を超えるサンプルを保有し、その中から1万以上のオリジナル生薬素材を研究してきた雲南白薬社と、肌における有効性や安全性に対するノウハウを持つポーラ化成工業が手を組み、共同で素材開発を進めることで、確かな効果のある素材を迅速に創出することが可能となると期待されます。

雲南白薬社 陶勇常務副総経理およびポーラ化成工業 釘丸社長のコメント

陶勇常務副総経理:「雲南白薬社は中国の豊富な薬用植物資源を頼りに、生物学、中国医学、皮膚科学を統合し、製薬技術を確立してきた。ポーラ化成工業と手を組み、最新の知的で精度の高い技術を活用することで、薬用植物のスキンケア成分を開発し、高機能かつ自然で安全な製品を消費者に提供していきたい。」

釘丸社長:「ポーラ化成工業の最大の強みは、皮膚科学研究です。中国の漢方には、40年以上前から着目し、製品に活用してきました。今回、雲南白薬社と素材開発を進めることで、自社の理念とする妙なる価値の創造を加速させ、より一層お客さまに喜びをお届けしていきたい。」

ポーラ化成工業と雲南白薬社の強みを生かした素材開発

有効素材を迅速に開発するには、多くの候補素材の中から肌に効果的なものを評価し、選定するプロセスが重要です。雲南白薬社は、高温多湿から寒冷地域まで多様な気候にある81万㎡(東京ドーム約18個分)の広大な植物農園を保有しており、そこから採取された多くの漢方素材を持つことに強みを持っています。実際に採取し研究してきたサンプルは1万種以上にもなります。一方、ポーラ化成工業は、候補の中から皮膚科学研究の知見に基づき、有効性・安全性評価を行いエビデンスに基づく有効素材を選定するだけでなく、化粧品製剤への安定化技術など、製品開発に強みを持っています。これまでも日本で初めてシワ改善効果が認められた医薬部外品 リンクルショット メディカル セラムの開発をはじめとする、革新的な研究開発を行っています。両社の強みを合わせることで、安全で確かな効果のある製品を迅速に創出できると考えています。

【補足資料】雲南白薬社およびポーラ化成工業フロンティアリサーチセンターについて

雲南白薬社について

雲南白薬社は、創業から100年以上の歴史があり、中国国内では知らない人はいないといわれる老舗医薬品メーカーです。

2019年の「最も価値ある中国ブランド2019(ブランドZ™)※」において、ヘルスケア部門で1位を獲得するなど、歴史と実績において、中国をリードする会社です。

※WPP社/カンター社調べ

中国・雲南省にある本社(右写真)は、高温多湿から寒冷地域まで多様な気候が生み出す自然に囲まれた地域にあり、広大な植物農園を保有しています。長い歴史の中で採取した植物由来の漢方素材のサンプルは、1万以上にもものぼります。

雲南白薬社 ホームページ

<http://www.yunnanbaiyao.com.cn/>



雲南白薬社 本社

ポーラ化成工業フロンティアリサーチセンターについて

1929年創業のポーラ化成工業は、ポーラ・オルビスグループの研究・開発・生産を担います。研究所のFrontier Research Center(FRC:フロンティアリサーチセンター)では、株式会社ポーラ・オルビスホールディングスのMultiple Intelligence Research Center(MIRC:マルチプルインテリジェンスリサーチセンター)が決定した研究戦略に基づいて、新規有効成分の開発や化粧品の枠を超えた新価値創出を担うなど、新規・既存事業へ活用するシーズを創出しています。また、世界中から化粧品の技術者が集まる国際化粧品技術者学会における最優秀賞の受賞回数は、世界2位となっています。

ポーラ化成工業株式会社 ホームページ

<http://www.pola-rm.co.jp/index.html>

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス ホームページ

<https://www.po-holdings.co.jp/>



ポーラ化成工業 本社・横浜研究所